

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		郷土博物館管理費 [郷土博物館管理事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	郷土博物館費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 郷土博物館					係	課長名	高田匡章			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 2				
【施策名】 市民文化の振興						総合計画書 (ページ)	35				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	郷土博物館の施設 郷土博物館利用者 →					施設利用者					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	安全に利用していただく →					事故件数					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	各種保守点検、施設修繕など。 ①施設の修繕等 各種保守点検、郷土博物館協議会の開催、日常の施設管理業務など →					修繕件数					
	単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
3 経費	対象指標	①の数値	人	49,512	53,588	45,561					
	成果指標	②の数値	件		1(駐車場の内事故)	3(駐車場の内事故) 1(展示物の盗難)					
	目標	②の目標値	件		0	0	0				
	目標値設定の考え方 施設利用者に安全に利用していただくため、事故件数は0が望ましい。										
4 環境変化等	活動指標	③の数値	件		13	11					
	事業費(実績)		円	29,246,025	29,717,717	21,366,769	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	29,246,025	29,717,717	19,416,079					
		特定財源	円			1,950,690					
	人件費(目安)	(うち受益者負担)	円			1,950,690					
		所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5					
		所要人数(再任用)	人	0.7	0.7	0.7					
		職員人件費(再任用以外)	円	4,126,500	4,122,000	4,155,000					
職員人件費(再任用)	円	2,114,000	2,113,300	2,107,000							
事業費+人件費		円	35,486,525	35,953,017	27,628,769						
(1) 開始年度		6 年度									
(2) 環境の変化 平成31年度から包括管理になり、各種委託業務は公共施設マネジメント課が一括して契約している。 施工20年以上経過し、設備の老朽化、機器類の部品製造の中止など、施設管理の課題は当面続くと想われる。 今年度は、新型コロナウイルス拡散防止のため、3月5日から31日まで臨時休館となった。											

事業名称	郷土博物館管理費 [郷土博物館管理事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について トイレの洋式化、男子トイレにおむつコーナーがないこと。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑧生き物のにぎわう池の管理他（雑木林の会）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 ものごとを頼みやすい関係作り。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 空調修繕については、建築課と調整し予算要求もしたが、予算獲得に至らなかった。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 駐車場内に、ブランターやのぼりなどを設置し、事故防止に努めた。 包括管理業者と相談しながら、修繕箇所の優先順位をつけ対応した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 利用者に安全にいただくための修繕、工事			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民文化の振興 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 優先順位をつけた修繕			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 公共施設マネジメント課及び包括管理者との連絡、相談など 新型コロナウイルス拡散防止による臨時休館が終わってからの事業展開（安全・安心に学習していただくための対策）			